

四国電力 松尾川第二発電所

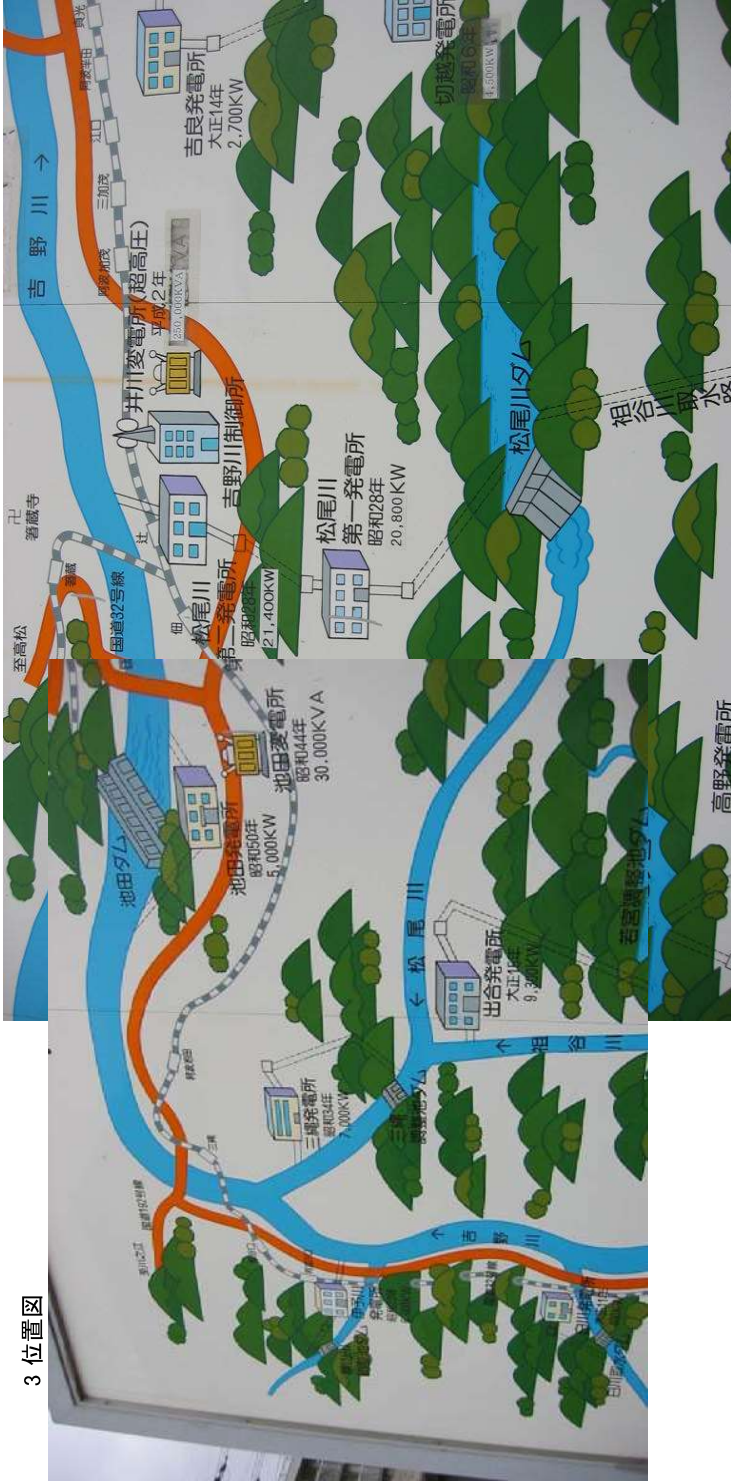
1 発電所全景



2 水圧鉄管



3 位置图





4 発電のしくみ

松尾川第一発電所+松尾川第二発電所 ペルトン水車
 発電量P: 20800+21400=42200KW
 (P=9.8*η *H*Q=9.8*η *780*6.3=42200より=0.876)
 流入量Q: 6.3m³/s
 落差H: 382+398=780m



水力発電のしくみ



水力発電のしくみ

川の流れをダムでせきとめ、水路で水そうへ導いたのち、落差を利用して鉄管で発電所へ落します。この水は、水車を回し、さらにこれに直結した発電機を回して、電気を起こします。動き終わった水は、また川へ戻します。

荷こされた電気は、トランスで、ムダの少ない高い電圧に変えられたのち、送電線で消費地へ送られます。

松尾川第一発電所
出力：20,800KW
使用水量：毎秒6.3m³
落差：382m

松尾川第二発電所
出力：21,400KW
使用水量：毎秒6.3m³
落差：398m

① 松尾川第一・第二発電所

松尾川第一・第二発電所は、松尾川の水を電力に変換する水力発電所です。松尾川は、山形県と秋田県にまたがる長河川で、その豊富な水量が、この発電所に大きなエネルギーをもたらしています。

松尾川第一・第二発電所の概要

- 所在地：山形県酒田市
- 発電容量：約1,000kW
- 発電機：水車発電機
- 変圧機：高圧変圧機
- 送電線：高圧送電線

この発電所は、松尾川の水を電力に変換する水力発電所です。松尾川は、山形県と秋田県にまたがる長河川で、その豊富な水量が、この発電所に大きなエネルギーをもたらしています。



松尾川第二発電所 旧水車ランナ

この旧水車ランナは、松尾川第二発電所で使用されていた水車ランナの一部分で、昭和40年12月から昭和50年まで使用されていました。このランナは、水車ランナの回転エネルギーを電気に変換するための重要な部品です。

このランナは、松尾川第二発電所で使用されていた水車ランナの一部分で、昭和40年12月から昭和50年まで使用されていました。このランナは、水車ランナの回転エネルギーを電気に変換するための重要な部品です。

平成10年7月
川電が中心となって

5 ペルトン水車のランナー



6 変圧器(66000V→6600V)



7 ペルトン水車本体+ノズル



